

護衛艦「せんだい」特別公開



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）広報室（室長 1陸尉 鈴木勝太）は、7月10日（土）7月11日（日）上越市直江津港木材岸壁において護衛艦「せんだい」の特別公開を実施しました。

会場の直江津港の岸壁では残念ながら一般客の立ち入りを完全に制限し、特別公開のみとなりましたが、2日間合計約300名の来場者が艦艇を見学しました。

会場では艦艇内の公開の他、高田駐屯地（司令 1陸佐 比嘉隼人）から隊員、車両の支援を受け、81式自走架柱橋、73式小型トラック及びオートバイ（偵察用）の展示や高田駐屯地音楽クラブによる音楽演奏を行うとともに、広報室の募集広報ブース、「せんだい」乗組員による質問コーナー「艦艇部隊なんでも相談室」も併せ開設、運営しました。

当日、多くの来賓の参列のもと入港歓迎行事が行われました。特別公開参加者は音楽クラブの演奏を聴いた後、乗組員に案内され、甲板から船室、艦橋などを見学し、護衛艦の特徴や各種兵装、艦艇内で働く様々な職種などの説明を受け楽しんでいました。また、他県の群馬地本、長野地本も艦艇広報に学生などを引率して訪れる等、護衛艦「せんだい」の注目の高さが伺えました。



参加者からは「護衛艦としては小型なのに装備がしっかりしていて驚いた」「様々な職種が艦艇の中で役割分担をし、全員で力を合わせて運用していることに感心した」「護衛艦のエンブレムに有るカップのマスコットが可愛かった」等の声を聞くことができました。

岸壁では、新潟地本キャラクターのヒカリン・マモルと記念写真を撮る姿や新潟県内では高田駐屯地でしか見ることのできない81式自走架柱橋に注目が集まる等、有意義な広報活動となりました。

新潟地本は今後も東方面管内で唯一日本海に面している県として、艦艇広報を積極的に行い、海上自衛隊に対する理解と信頼を深めるとともに魅力をPRし志願者の獲得に繋げていきます。